

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 6 月 30 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	文学部文学科演劇学専攻
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2026 年 7 月 8 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	オーストリア
留学先大学	ウィーン大学(日本語名) Universität Wien(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語/ 英語
留学期間	2025 年 8 月～2026 年 7 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 歴史学部 現地言語での名称: geschichte ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 10 月～1 月 2 学期: 3 月～6 月 3 学期: 4 学期:
学生数	85000 人
創立年	1365 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ユーロ) (1 現地通貨 = 186 円)	B 日本円	備考
授業料	835	円	語学学校の授業料
宿舍費	745×10 ヶ月、372	円	
食費	150×11 ヶ月	円	
図書費	50	円	語学学校の教科書代
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	9.99×10 ヶ月	円	
現地交通費	75(前期)、294(後期)	円	約 100 ユーロ返還予定(□大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	800	円	観劇代×42 回分
旅費(留学中)	4300?	円	20 回くらい。もう少しかかってるかも
被服費	30	円	ブーツ、マフラー
医療費	0	0 円	
保険費	765	100,000 円	形態: 二重で払われた
渡航旅費		250,000 円	
ビザ申請費	230	円	
雑費		円	
その他	1000	円	外食など交際費
その他		200,000 円	スーツケース代など渡航準備費
合計 ※現地通貨 および 円	17860 (=3,300,000 円)	550,000 円	
総計(A+B) ※円		3,850,000 円	現在の 1 ユーロ 186 円で計算しているが、170 円の時点でユーロに両替しているため、実際に日本円で払った額は 350 万円程度。奨学金が合計 230 万だったので、個人での持ち出しは 120 万くらいだと思います。

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：東京 目的地：ウィーン 経由地：なし

復路 出発地：ウィーン 目的地：東京 経由地：なし

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社：オーストリア航空
料金：25 万

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社： 料金：
復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名： expedia)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前： Gasgasse) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

インターネット上で OEAD という学生寮を提供する会社のサイトに登録しました。

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

・感想

かなり新しい建物だったこともあり、とても綺麗で快適な部屋でした。1 人だと周りを気にせず、キッチンやシャワーを使えるのもよかったです。冬はとても暖かくて良いのですが、夏は冷房がないため地獄の暑さです。私はハンディファンと首に巻く保冷剤のようなものを持っていったのですが、これがなかったら生活できなかったと思うレベルです。

・アドバイス

1 人部屋を確保したい方は、早めにサイトに登録することをお勧めします。留学経過報告書の方にも書きましたが、渡欧して最初の 1 ヶ月は騒音問題との戦いでした。何か問題が発生した時には、とにかく諦めずにしぶとく訴え続けることが大切です。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特になし。スリの多い国に行くときはバッグにカラビナをつけて行きました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮は Wi-Fi がついていました。外では educom という通信会社の 1 ヶ月 9.9 ユーロのプランを使っていました。EU 圏内旅行中もこのプランで対応できたので楽でした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で erste 銀行の口座を開設しました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

ハンディファン、首に巻く保冷剤、クレラップ、日本の調味料(調達はできるが高いため)、日本語で書かれた参考書、病院でもらう薬、ユニクロのヒートテック、ホッカイロ

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
38 ECTS 単位	☒ 申請予定 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☐ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 他学部・V0 以外の授業は制限がかけられていることも多いです。	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
A1/1 September-Intensivkurs Deutsch am Campus	A1/1 ドイツ語コース
科目設置学部・研究科	Sprachenzentrum
履修期間	9 月のみ
単位数	4 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 210 分が 5 回
担当教授	Walter Turk
授業内容	教科書に沿って、文法や会話を学ぶ。
試験・課題等	中間と期末でテストが 2 回。期末は筆記(リスニング、ライティング、リーディング)と口頭(スピーキング)の試験を 2 日間でそれぞれ受けた。
感想を自由記入	ドイツ語ゼロの状態での渡航だったので、簡単な自己紹介など初歩から学べてよかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Global History		世界史
科目設置学部・研究科	Geschichte	
履修期間	10 月～1 月	
単位数	5 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(V0)(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Martina Kaller	
授業内容	オーストリア史	
試験・課題等	期末試験のみ	
感想を自由記入	先生の英語の訛りが強く聞き取りづらかったが、試験自体は持ち込みありで評価も緩かったので難しくなかった。Global History という題名の割に、実際の内容はオーストリア史だったが、元々興味があったので面白かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Climate Change and Climate Crisis		気候変動と気候
科目設置学部・研究科	Geographie	
履修期間	10 月～1 月	
単位数	5 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(V0)(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Franz Essl, Meike Levin-Keitel, Christa Schleper	
授業内容	地球温暖化などについて学んだ記憶がある。	
試験・課題等	期末試験(オンライン)のみ	
感想を自由記入	各回ごとにゲスト講師が来て講義をしてくれる方式だった。恐らくウィーン大学の中でも有名な単年で受講者数があり得ないくらい多かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Spezialkurs Englisch Auffrischung B2		2 月英語復習コース B2
科目設置学部・研究科	sprachenzentrum	
履修期間	2 月	
単位数	3 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回	
担当教授	Paul Nogid	
授業内容	いたって普通の英語の授業。スピーキングの機会は比較的多かったと思う。	
試験・課題等	筆記(リスニング、ライティング、リーディング)と口頭(スピーキング)	
感想を自由記入	英語 B2 の修了と C1 への橋渡しを目的としたコースだった。先生が優しかったのでテストは簡単だったが、内容はそれなりに高レベルだったと思う。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
ABWL Marketing I		マーケティング
科目設置学部・研究科	Wirtschaftswissenschaften	
履修期間	3 月～6 月	
単位数	3 ECT	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(V0) (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Martin Eisend	
授業内容	マーケティングの基礎を学ぶ。	
試験・課題等	期末試験のみ	
感想を自由記入	授業自体は結構面白かった。録画配信もあったので現地に行かなくても受講出来て便利。テストは対面だったが、正誤問題で 5 割取れればよかったのでどうにかなった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
The Austrian Legal System – an overview		オーストリアの法制度
科目設置学部・研究科	Rechtswissenschaften	
履修期間	3 月～6 月	
単位数	3 ECT	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(KU)(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Verena Haas	
授業内容	オーストリアの法制度と歴史についての授業だったが、全体的な近代史についても触れていた。	
試験・課題等	4 回のレポート課題(それぞれ数百ワード)と 2 回のオンラインテスト	
感想を自由記入	課題やテストがこまめに行われるのが面倒だったが、忘れずにやりさえすれば必ず単位は取れる。先生が優しい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
History of Iran from the Safavids to the present time		サファヴィー朝から現在までのイランの歴史
科目設置学部・研究科	Orientalistik, Afrikawissenschaften, Südasien-, Tibet- und Buddhismusk	
履修期間	3 月～6 月	
単位数	5 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(V0)(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Robert Steele	
授業内容		
試験・課題等	期末試験(オンライン)のみ	
感想を自由記入	オンラインテストだったので試しに受けてみた科目。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
INKOM International Communication	インターナショナルコミュニケーション
科目設置学部・研究科	Publizistik- und Kommunikationswissenschaft
履修期間	3 月～6 月
単位数	3 ECT
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(V0)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Sabine Einwiller
授業内容	国際的なコミュニケーションの取り方。国ごとのコミュニケーションの特徴を踏まえて異文化間でどのようにやり取りや PR を行うべきかを学ぶ。
試験・課題等	期末試験のみ
感想を自由記入	ゲスト講師が来る回数が比較的多かった。担当の先生の英語がとても聞き取りやすく、授業内容的にも比較的身近で想像しやすいので 7 割くらいは理解できた。対面のテストであるにも関わらず、ノー勉で行ったため絶対に落としたと思ったが、なぜかギリギリ合格していた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
The Anthropocene across the Disciplines	学際的視点から見た人新生
科目設置学部・研究科	Erdwissenschaften, Meteorologie-Geophysik und Astronomie
履修期間	3 月～6 月
単位数	3 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(V0)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Mehwish Bibi, Veronika Koukal, Michael Wagreich
授業内容	
試験・課題等	期末試験(オンライン)のみ
感想を自由記入	オンラインテストだったので試しに受けてみた科目。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
A1/2 Trimester Deutsch		A1/2 ドイツ語コース
科目設置学部・研究科	Sprachenzentrum	
履修期間	4 月～6 月	
単位数	4 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回	
担当教授	Doris Neidl	
授業内容	教科書に沿って、文法や会話を学ぶ。	
試験・課題等	期末に筆記(リスニング、ライティング、リーディング)と口頭(スピーキング)の試験を 2 日間でそれぞれ受けた。	
感想を自由記入	9 月以降、ドイツ語コースは受けていなかったが、自分で文法書などを使って少し勉強していたので内容的には簡単だった。ただ、リスニング力を向上させられたので行ってよかったと思う。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

学年的には 4 年生ですが、秋学期から休学して卒業を 1 年(半期?)遅らせる予定です。そのため、留学中の 2026 年 5 月頃から、28 卒(一般的には 3 年の代)に混ざって就活を始めました。私の周りは 3 年から渡航する子達は大抵同じように卒業を遅らせるようでした。遅らせずに卒業したいのであれば、留学前の春から動き出して夏インターなどに積極的に参加しておいた方がいいと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	なし
	4 月 ～ 7 月	なし
	8 月 ～ 9 月	なし
	10 月 ～ 12 月	語学試験の勉強と受験、学内選考、奨学金の書類提出
留学開始年	1 月 ～ 3 月	奨学金の面接、寮の申し込み
	4 月 ～ 7 月	航空券購入、在留許可の書類準備
	8 月 ～ 9 月	在留許可の書類準備、渡航、現地保険加入、在留許可申請など
	10 月 ～ 12 月	引っ越し
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	前期期末試験
	4 月 ～ 7 月	後期期末試験、帰国
	8 月 ～ 9 月	就職活動など
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がウィーンを留学先にしたのは、ミュージカルの「エリザベート」が好きだったからです。明治の交換留学先にウィーン大学があることを知り、憧れていた頃の気持ちが再燃したのでこの国を選びました。

留学生活は全体的にはすごく充実していて楽しかったです。とはいえ、最初の 1～2 ヶ月はトラブル続きで精神的にかなり追い詰められ、途中で留学を中止することも考えていました。ただ、その時期を乗り越えた後は、こんなに楽しんでいいのかな？と逆に不安になるくらい（留学と言えば勉強や外国人との交流で苦勞するイメージがあったので…）最高の留学生活でした。

ヨーロッパ留学の醍醐味であろう海外旅行は 15 国 27 都市もの場所に行くことができました！

交友関係は、現地のコミュニティに属していたわけではなかったのですが、タンデムなどを通じてオーストリア人の友達も何人かできました。もちろん日本人で仲良くしてくれる子もいて、旅行に一緒に行ったり、日本語で話したり、1 人になりがちな留学生活において大事な交友関係だったと思います。

私は観劇が本当に大好きなので、その点においてもウィーンは最高の場所だったと感じます。学生チケットや立見席の値段がすごく安いので気軽にミュージカルやオペラ、バレエなどあらゆる舞台芸術に触れることができます。美術館も年間チケットが 99 ユーロで買えたので、暇つぶしがてらよく行っていました。もし芸術系に興味を持っている方であれば、ウィーンは本当におすすめの場所です。

アドバイスとしては、積極的に自分から動くことは大事かもしれません。別に大きいことはしなくても良いのですが、友達になれそうな人が出来たら旅行や遊びに誘ってみるとか、タンデムのサイトに登録してみるとか、相手から声をかけられた時は嬉しいという気持ちを伝えるとか、何かしら自分から進んで行動すると相手との接点は生まれていくのかなと感じました。

あとは留学中だからといって毎日気を張りすぎないことです。1 年もあれば（半年でも）、調子の悪い時があるのは当たり前だし、周りと比べても仕方ないので、「海外で 1 人で生活してる自分って偉い！」って自分を褒めたたえることが大切です。特に冬は暗くて冬季うつにもなりやすいので、ビタミン D サプリを摂取しながら何とか乗り切る精神でいると良いと思います。

帰国前に必要な手続きについて

渡航時の手続きは留学経過報告の方に書きましたが、帰国時にもいくつか必要な手続きがあるので記入しておきます。

【現地保険(ÖGK)の解約】

帰国の数週間前に会社にもメールをして解約手続きを行いました。

メールアドレスは「selbstversicherung-11@oegk.at」

解約届けと住民登録解除の書類を提出するように言われるので、住民登録を解除後、それらの書類をメールで送信してください。

【educum(esim)の解約】

アプリから解約できます。

【住民登録解除】

退去日の 3 日前から市役所で解除できます。解除届のような書類が必要なことを知らずに行ってしまったのですが、職員の方が書いてくださいました。パスポートは必須です。午前なら予約なしで行けますが並ぶので、午後に予約して行った方が良いでしょう。

【公共交通機関の 1 年間チケットの途中解約】

今年の 1 月からチケット制度が大幅に変更になり、半年のチケットが廃止されたため、年間チケットを購入するしか方法がなくなりました。しかし、7 月までしか滞在しないため、それ以降の分はキャンセルしました。購入後 7 か月以上経過していれば、wienmobil アプリ上で自由にキャンセルできます。6 ヶ月以内に解約したい場合は、住民登録解除の書類などを事務局にメールで送り、審査してもらわなければならないはずです。今後も半年間留学の場合はこの手続きをすることになると思うので、念のため記載しておきました。

【口座の閉鎖】

現地で erste 銀行を開設したため、その閉鎖を行う予定です。ただ上記の交通機関のチケットキャンセル料が 9 月に振り込まれる予定のため、現在(7 月時点)ではまだ閉鎖していません。問い合わせたところ、日本からでも閉鎖は可能とのことだったので、入金後、閉鎖の手続きを行おうと思っています。